

Vol.101 No6
2010.11.2

農職組ニュース

茨城大学農学部
労働組合

第一回 3地区組合 合同団体交渉 開催される

(2010年10月29日 18時～本部 第3会議室)

10月14日18時から開催された「平成22年度 第1回 3地区組合 合同説明会」を受け、10月29日に第一回団体交渉を行いました。阿見地区からは、執行部3役と書記の河野4名が出席しました。団体交渉は、山本理事、鈴木総務部長が対応しました。

当局は、12月1日基準で人勸依拠に基づき、本給と期末・勤勉手当を減らしたいという意見でした。当局の考えている日程では、12月1日に間に合わせるために、11月25日までに団体交渉を終了させたいという考えです。当局側は、どうしても人勸依拠を行い他大学と横並び状態にしておきたいという考えです。また、人勸依拠ということは、人勸がアップされれば当然給与も上がるとの山本理事の回答を得ていることを付け加えておきます。

本給・期末・勤勉手当を人勸依拠に基づかせないという対策と不利益変更分を地域手当として支給させるという対策の2通りについての交渉になります。剰余金(?)9000万円の用途が不明の中で学長の判断を仰がなくてはならない状況になっています。

11月10日の運営経営会議終了後に団体交渉の日程を組んでいます。運営経営会議では地域手当への若干の上乗せ案としてまとめたいという考えでいるようですが、学長の回答次第によっては、交渉がずれ込むことも予想されます。

11月10日までに、農学部労働組合では、代議員会議を開催するとともに、組合員からの意見集約を行います。本来ならば、臨時総会を開催し説明会を行いたいのですが、日程的に厳しい状況となっているため、このような対応をすることをご容赦願います。



全大教合同地区別単組代表者会議に参加

(2010年10月30日～31日 全大教会議室)

30日は黒田委員長、31日は小川副委員長が出席。執行部報告として「秋季・年末に向けた取組」が報告されました。資料は組合事務室にあります。

1. 「人勸準拠」論に基づく、賃金引き下げ反対・要求前進の取組
2. 2011年度運営費交付金等の概算要求をめぐる状況と取組
3. 組合員拡大・組織・財政の強化について

の3課題が主な内容でした。

1. の賃金闘争は、現在団体交渉に入っています。運営費交付金と人勸は別物という考え方が基本になります。また、56歳以上の賃金削減率が大きいのは、国家公務員の中で教員がほとんどいないため、大学の実情が反映されていないということが大きいです。一方、医療職や指定職は、削減対象から外れているという手前味噌的な提案であるとの報告を受けました。

2. の運営費交付金等の概算要求をめぐる取組では、団体署名を最終集約2011年11月末までに、目標5,000団体からの署名を集約するという事です。運営費交付金の増額要求は重要な課題と考えていますので、今後ご協力をお願いすることになると思います。



お願いしまーす！

(バザールくみあい実行委員会より)

11月6日の**鍬耕祭**でフリーマーケットとヨーヨーつりを行います。

フリマ用の品が不足していますので、ご協力下さいますようお願いいたします。(組合事務室まで) また、お電話いただければ取りに伺います。

(古着、古本、バッグ、靴、台所用品、おもちゃ、食器、家具、タオル etc.)

***当日のスタッフも大募集中です**